

学ハ口大阪新聞

発行所
厚生労働省 大阪労働局
大阪新卒応援ハローワーク
〒530-0017
大阪市北区角田町8-47
阪急グランドビル18階
TEL 06-7709-9455
FAX 06-7709-9458
http://osaka-young.
j-site.mhlw.go.jp

第3号

2013年11月27日

- 1 視野広げ会社選びを
- 2 わたしの就職活動日記
- 3 文系からSE、PG目指せ
▼応援メッセージ
- 4 就活悩み相談室

焦らず、視野広げ会社選びを

厚労省などの調査では、就職内定率は全体で前年同期比1.2ポイント高く、うち近畿地区では68・0%と同1.6ポイント上昇した。

その背景にあるのが企業の業績回復だ。日本経済新聞(2013年11月16日付朝刊)によると、上場企業の2013年4-9月期連結決算は全業種ベースの経常利益が前年同期比42・4%増えた。田安や海外需要の回復を背景に製造業では自動車や鉄鋼が、非製造業では通信の伸びが目立つという。

厚労省などの調査では、就職内定率は全体で前年同期比1.2ポイント高く、うち近畿地区では68・0%と同1.6ポイント上昇した。

その背景にあるのが企業の業績回復だ。日本経済新聞(2013年11月16日付朝刊)によると、上場企業の2013年4-9月期連結決算は全業種ベースの経常利益が前年同期比42・4%増えた。田安や海外需要の回復を背景に製造業では自動車や鉄鋼が、非製造業では通信の伸びが目立つという。

その背景にあるのが企業の業績回復だ。日本経済新聞(2013年11月16日付朝刊)によると、上場企業の2013年4-9月期連結決算は全業種ベースの経常利益が前年同期比42・4%増えた。田安や海外需要の回復を背景に製造業では自動車や鉄鋼が、非製造業では通信の伸びが目立つという。

不動産やIT、介護、外食産業 狙い目

大阪労働局が10月に発表した景気・雇用のヒアリング調査(在阪313社対象に今年9月実施)も、3カ月後



内定奪取へ大会場、熱く 若者応援企業就職フェアが11月18日、グランフロント大阪で開かれ1200人が参加。大会場は内定を目指す若者たちの熱気に包まれた(最終面に関連記事)。

大阪労働局が10月に発表した景気・雇用のヒアリング調査(在阪313社対象に今年9月実施)も、3カ月後

大阪労働局が10月に発表した景気・雇用のヒアリング調査(在阪313社対象に今年9月実施)も、3カ月後

大阪労働局が10月に発表した景気・雇用のヒアリング調査(在阪313社対象に今年9月実施)も、3カ月後

大阪労働局が10月に発表した景気・雇用のヒアリング調査(在阪313社対象に今年9月実施)も、3カ月後

大阪労働局が10月に発表した景気・雇用のヒアリング調査(在阪313社対象に今年9月実施)も、3カ月後

大阪労働局が10月に発表した景気・雇用のヒアリング調査(在阪313社対象に今年9月実施)も、3カ月後

大阪労働局が10月に発表した景気・雇用のヒアリング調査(在阪313社対象に今年9月実施)も、3カ月後

うち8割の企業が年内に正社員の採用予定があると答えている。特に求人が充足していない介護・福祉や不動産、IT、外食といった産業では、年内を目標に積極的な採用活動を展開しており、求職活動の狙い目といえそうだ。

例えば、大阪市北区の住宅売買やマンション管理を営む不動産会社。社員119人、売上高37億円の中堅企業だ。ここ数年、売上高、営業利益とも前年を上回る好調ぶり。今年も新卒10人を採用する予定で、現在、5人が内定し、さらに年内に5人を採用したいという。景気回復で、親会社が建設するビルや建物の着工数の増加がその背景にある。

例えば、大阪市北区の住宅売買やマンション管理を営む不動産会社。社員119人、売上高37億円の中堅企業だ。ここ数年、売上高、営業利益とも前年を上回る好調ぶり。今年も新卒10人を採用する予定で、現在、5人が内定し、さらに年内に5人を採用したいという。景気回復で、親会社が建設するビルや建物の着工数の増加がその背景にある。

例えば、大阪市北区の住宅売買やマンション管理を営む不動産会社。社員119人、売上高37億円の中堅企業だ。ここ数年、売上高、営業利益とも前年を上回る好調ぶり。今年も新卒10人を採用する予定で、現在、5人が内定し、さらに年内に5人を採用したいという。景気回復で、親会社が建設するビルや建物の着工数の増加がその背景にある。

例えば、大阪市北区の住宅売買やマンション管理を営む不動産会社。社員119人、売上高37億円の中堅企業だ。ここ数年、売上高、営業利益とも前年を上回る好調ぶり。今年も新卒10人を採用する予定で、現在、5人が内定し、さらに年内に5人を採用したいという。景気回復で、親会社が建設するビルや建物の着工数の増加がその背景にある。

例えば、大阪市北区の住宅売買やマンション管理を営む不動産会社。社員119人、売上高37億円の中堅企業だ。ここ数年、売上高、営業利益とも前年を上回る好調ぶり。今年も新卒10人を採用する予定で、現在、5人が内定し、さらに年内に5人を採用したいという。景気回復で、親会社が建設するビルや建物の着工数の増加がその背景にある。

この研修に2カ月を要する。このため年内の人材確保に全力をあげている。

IT業界も求人数も増加傾向だ。大阪新卒応援ハローワークのレギュラーマッチングブースを利用したIT系企業は、平成25年11月末現在で延べ37社と、前年度通期の延べ19社を既に上回っている。求人件数でもSE・PG職は、本年度は26件(前年度16件)。求人数は、110人と前年度の70人を大きく上回っており、年度末に向けて求人数はさらに増える見通しだ。

外食関連では、東証1部上場のある企業(本社大阪府)では、総合職を募集しているが、11月時点での充足率は6割程度。同社はグループ会社として全国に約2000店を展開しており、越年で採用活動を続けるといふ。採用担当者は「必要人員の確保は難しいが数字合わせの採用はしない」と話し、たとえ人手不足の業界でも厳選しての選考に変わりはない。



相談できる人を味方に、突破

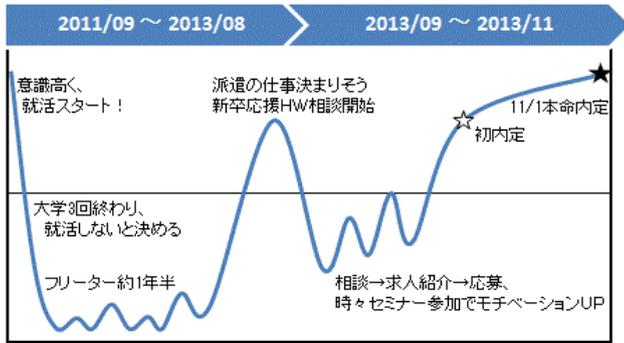
2年浪人、1年留年、1年半のフリーターを経験して、本命企業から内定を得た。正社員への道が遠く思われたフリーター時代、転機となったジョブサポーター（JS）との出会い。「就活は自分の弱さとの闘いでもあった」と話す彼は、どんな思いで活動し、それを乗り越えたのか。本気で就活と自分自身に向き合った内定までの道のりを振り返る。

◆どんな就職活動だったか。

3回生の9月頃からスタートした。大学受験に失敗し、引け目もあつて就活は周りの友達よりも早く始めた。だが履歴書を書く段階で行き詰まる。A4用紙1枚の内容が埋まらない。自己PR欄にびっしり書き込まれた友人の履歴書を見て、周りが凄い人と思えた。それでも提出した書類が通り、面接に進むこともあつたが、面接会場に足が向かない。出れば間に合う時間に家を出ることができなかった。就職活動に気持ちがついていかない。3回生の終わり、自分は就活をしないと決めた。

◆卒業後の活動は。

4回生からは地元大阪に戻りアルバイトを始めた。卒業後はフリーターとして働いていたが、ふと派遣社員とい



本気で就活、正社員になれた

う考えが頭に浮かび、販売員の面接を受けた。好感触だった面接の帰り道、「本当にこれでいいのか？」と不安がよぎる。この仕事でも数年働けば正社員への道はある。でも…。面接帰りのその足で大阪新卒応援ハローワークを訪ねた。抱えた不安を率直にJSに話した。

◆自分の中で何が変わったか。

「本気で就活すれば、2カ月で正社員になれる」とJSに言われた。JSには自分の知らない様々な企業の話を知った。自分の中では関心が薄かった営業職も、現場を知る、マーケティングを知るために最も大切な仕事であることが分かった。そして「10年後、20年後に自分が現場を引張る人になりたい」という気持ちが生え、営業の学卒求人を中心に応募する意思が固まる。毎週水曜日に求人紹介、金曜日に書類を提出する

に活用した。模擬面接ではたくさんのお付きをもらった。他の受講生の面接を見て、面接官の目を持つことができた。自分の面接のフィードバックでは「明るくて、印象は良い。ただ話に具性がなく、つまらない」と言われた。同じ受講生からの厳しい助言だったが自分でもうすうす感じていた欠点だった。家に帰ると就活モードが途切れるため、ハローワーク

◆そして内定を得た。

結局、11社に書類を提出10社が面接に進み、4社から内定を得た。本気の就活を始めて1カ月半、人生初の内定をもらおうと、とても気が楽になったし、企業選択の基準ができた。そして半月後、本命企業から内定をもらう。住宅設備機器卸の営業職だ。

◆就活を振り返って思うこと。

就活中は自分で自分のやる気をコントロールすることが難しかった。フリーター期間中も正社員を目指して就活し、うまくいかないことが続いたが、家族が支えてくれた。正社員を目指すべきか、悩んだことがきっかけで新卒応援ハローワークに来たが、そのタイミングで正社員になるという前向きな目標ができた。JSと話すことで、書類が完成することで、面接に進むことで、少しずつ自分に自信が生まれた。就活から逃げたい気持ちが出た時には、叱咤激励してくれるJSがいたから就活が続けられた、と思う。

という流れができた。ただ、1社目の書類提出までが紆余曲折だった。書類作成が苦手なことは自覚していた。何度目JSと相談し、手書きの履歴書は極力シンプルに書き、ワードで作った自己PRに熱意を込めた。自分なりの克服法が見つかった。

◆2度目の就活は何が違ったのか。

相談できるJSに出会い、新卒応援ハローワークを大い

就活ファイルは2カ月で2冊



に活用した。模擬面接ではたくさんのお付きをもらった。他の受講生の面接を見て、面接官の目を持つことができた。自分の面接のフィードバックでは「明るくて、印象は良い。ただ話に具性がなく、つまらない」と言われた。同じ受講生からの厳しい助言だったが自分でもうすうす感じていた欠点だった。家に帰ると就活モードが途切れるため、ハローワーク

文系からSE、PGに挑戦を

IT投資 拡大の動き

東日本大震災や景気低迷の影響でIT投資を先送りしていた企業が、投資を再開する動きを見せている。総務省・経済産業省の平成25年情報通信業基本調査によると、情報通信業の売上高の伸びは前年度比2.7%、情報サービス業では3.4%と微増ながら増加傾向に転じ、IT各社の業績も回復基調にある。「文系・理系を問わず、幅広い人材を獲得したい」と積極採用に意欲を見せる採用担当者。システム開発に興味のある若者にはぜひチャレンジして欲しい業界だ。

SEとPGの違い

SE担当

- ① 顧客のニーズを把握し機能・デザインを構想
- ② システム全体の設計図・仕様書を作成
- ③ 仕様書に基づき各工程を構成するプログラムを作成
- ④ 各工程のプログラムをテスト
- ⑤ 各プログラムを結合し全体を組み立てる
- ⑥ 組み上がったシステムのテストを繰り返して検証
- ⑦ リリースする

PG担当

大阪市北区に本社のある大手通信会社系のIT企業。業務系システムや制御系ソフトの開発、通信ネットワーク開発を手掛ける。従業員は子会社を含め850人の中堅企業だが、ここ2、3年、仕事量は大阪で10%、東京で10%増えている。中途採用で即戦力を確保し需要に対応したいところだが、30歳から

就活に役立つ
キーワード



40歳前後の人材がいらないのが現状だ。

中途採用の増加は年齢や人員構成に歪みをもたらす。このため新卒採用を強化し、社内で育成する方針を打ち出した。採用担当者は「システムに興味があれば文系・理系は問わない。文系でも英語、数学など理数系科目に強い人がいる」とその狙いを明かす。

本年度は内定者の6割が理系、4割が文系の学生だ。新卒の戦力化にはプログラマー(PG)で2年、システムエンジニア(SE)は更に3年はかかるという。「経験者を奪い合うより、自社での育成が会社の将来に役立つ」。背景には長期的な経営判断があるようだ。

大阪市淀川区の医療システムを手がけるIT企業。医療

分野は今後10年、電子カルテなど医療情報システムの普及で新規導入が見込まれる。

採用選考のポイントについて、ある社長は「顧客の要求を理解できるコミュニケーション力やチームで仕事ができる協調性が大切だ。指示待ち、粘り強さ、約束を守る責任感、礼節を重視する」と話す。

このため、将来の需要増を見据え本年度は130人の採用計画を立案。10月末で90人が内定し、さらに40人を採用したい考えだ。開発職(PG・SE)の大半は理系だが情報処理の素養があれば文系も採用している。営業・システム導入職は逆に文系が多く、全体では文理半々の構成だ。

今後は「社会保障・税番号

2015年卒生、登録開始 グループディスカッション 立ち居振る舞い、セミナーで

企業の採用関連情報の12月解禁に合わせ、大阪新卒応援ハローワークでは、2015年卒の大学生、短大生、専門学校生等の登録が本格的に始まった。グループディスカッション(GD)や就職ガイダンスなど、多彩なセミナーで若者層の就職活動を支援する。

「模擬グループディスカッション」では、大手企業を中心に導入されているGDのコツを、座学と実践で学ぶ。座学では、企業は学生のどこを見ているのか、どんな発言や姿勢を評価するのかを解説。実践編では今春、企業で出題されたテーマを題材に20分間、議論を展開してもらう。「就職ガイダンス」は就活の基本的な考え方や書類や面接のポイントを分かりやすく話す。爽やかな印象と立ち居振る舞い、メイク、スーツの着こなしを学ぶなら「実践☆面接力UP」がおすすめ。面接会場に入退室する自身の姿をビデオ撮影し、お辞儀の角度やイスの座り方、歩き方を入念にチェックする。

応援メッセージ ご覧ください

大阪新卒応援ハローワークでは、内定(採用)が決まりました方から、就活中の皆さんへ応援メッセージを集め、受付付近に掲示しています。就活を共に頑張ってきた仲間からのメッセージには、色々と勇気づけられたり、共感できることも多いでしょう。また、内定を獲得した成功談など、参考になることも多々あると思います。大阪新卒応援ハローワークへお越しの際は、ぜひご覧ください。今後、Facebookでも紹介していく予定です。

制度」、いわゆるマイナンバー導入の準備のため、全国の自治体で膨大なシステム改修の需要が見込まれ、PGやSEの技術者が大量に不足することも予想される。

IT業界は、営業職や事務職とも共通する資質が多い。未内定の文系の学生、既卒者でIT業界に興味のある人にはチャンスといえそうだ。

就活悩み相談室

(質問)
「自己PRといわれても、自分にはPRできません」

(回答) まず、約20年間生きてきて、良い所がない人など絶対ないと断言しなさい。ただ、あまりに自分として

普通のことを普通にこなす 当たり前前能力が自分の長所

は常識的なことなので、気付いていない場合があるかもしれません。自己分析に用いられる「ヨハリの窓」を「存じ」の方も多分、返ってくる答えは、「そんなこと？」と思うでしょう。それは、あなたにとって、あまりにも当たり前だからです。でもその染みついて

良い事をした自分が、強烈に印象に残ります。しかし、普段、当たり前前に席を譲っていた人にとっては、特別なことではないので、これがPRに結び付くことに気がつきません。これを知るためにお勧めしたい方法が「自己分析」です。周りの大人や友人に、「私の良い所を教えてください」と頼むのです。聞く方も聞かれる方も恥ずかしいかもしれませんが、そこは就活のためと割り切ってください。また、すべての物事には、表と裏があります。「いいかげんな人」は、「おおらかな人」でもあり、「目立たない人」は「譲り合う心がある人」でもあるのです。自分が欠点と思っているところを、どう言い換えて長所として表現するかは「企業が求める応募書類セミナー」でお伝えしていますので、ぜひご参加ください。

リーダーの経験や優勝ばかりがPRではありません。普通の事を普通にこなせる能力も立派なPRになります。あなたの潜在能力を探し出すお手伝いをします。われわれジョブサポーターにご相談ください。

(JS 高畑)

意中の企業にアタック 就職フェア

11月18日に梅田で開かれた「若者応援企業 就職フェア2013」には来春卒業予定の大学生や既卒の若者たち約1200人が参加。各企業のブースを熱心に回り、意中の企業にアタックした。フェアには企業102社が参加。採用担当者が会社の主力商品や業績、福利厚生面について説明すると、学生たちは熱心にメモを取るなど真剣な表情で聞き入っていた。また就活なんでも相談コーナーも設けられ、学生たちが参加企業の仕事内容や会社選びのコツ、志望動機の作り方などを質問していた。

電話応対 男性メイクも

直前セミナー盛況

就職フェアに先立ち開催された「直前対策セミナー」には大勢の若者が参加した。

眉もキリリ



「見た目も大切講座」では面接で大切な第一印象を良くするために髪型や、スーツの着こなし、お辞儀から立ち居振る舞いまで、基本的なテクニックをJSが丁寧に指導した。写真真左。「ESに飛びつき」の写真を貼ろう編」では、応募書類に貼る写真の表現について、プロの写真家が「業界や職種によって表現を変えるべき」と講義。男性にも眉のメイクを施し、印象アップの秘訣を伝えた。写真真中央。「自己PR術&グループ面接の極意」では、自分を最大限にアピールする自己PR術とグループ面接でも上手く自分を表現できるコツを話した。



「話し方好感度UP講座」では、応募先企業への電話のかけ方などをJSと学生が携帯電話を片手に練習した。写真真上。応募する際の自己紹介や正しい敬語の使い方、遅刻の連絡などをロールプレイを交え習得した。

